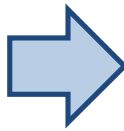
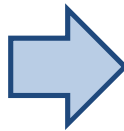


令和3年度 道路改良事業完成箇所の整備効果

事業名称	市道市場第197号線鶴見区市場上町地内道路改良事業		
事業期間	平成29年度～令和3年度	事業箇所	鶴見区市場上町10番地先
事業費	11,240千円		
事業内容	踏切の歩行者通路拡幅整備 整備延長L=40.0m 計画幅員9.5m(車道6.0m、歩道2.0m、1.5m)、現況幅員8.0m(車道6.4m、歩道0.8m両側)		
事業効果	(実施前) 横浜市鶴見区に位置する古市場踏切は、市道市場第197号線とJR東海道本線・京浜東北線・JR貨物線の3路線が交差する踏切で、歩行者通行帯の幅員が0.9mと狭小であることから自動車と自転車・歩行者が輻輳し、安全が確保されていない状況となっていました。		
	(実施後) 踏切の拡幅に合わせて前後の道路についても拡幅と歩道の設置を実施しました。 [効果] これまでは滞留した人や自転車が一齐に踏切を渡ること危険な状態でしたが、本事業により自転車及び歩行者の安全性が向上されました。 [地元町内会等の意見等] 踏切の歩行者通行帯が拡幅されて、これまでより安心して渡れるようになりました。ラッシュの時は車道にはみ出て、とても怖い思いをしたことがありましたが、それがなくなり車もスムーズに渡れるようになって良かったと思います。 令和3年6月8日供用開始		



実施前

実施後